

令和8年1月20日

お知らせ

	後楽園事務所	岡山県 郷土文化財団
担当	川井・真柴	栗坂・加藤
電話	086-272-1148	

後楽園の早春の恒例行事「芝焼き」を実施します

後楽園の早春の恒例行事「芝焼き」を次のとおり行います。

冬枯れで黄金色になっている芝が、炎とともに漆黒へと変わって行く様子は圧巻で、この時期の風物詩として親しまれています。

なお、本件については、岡山中央署記者クラブにも本日発表します。

記

- 1 概要** 園内の芝生の大部分を鶴鳴館前から順番に松明^{たいまつ}で焼いていきます。真っ黒な芝に覆われた庭園が楽しめるのは、一年に一度、この日だけです。



松明で着火



白い煙が辺りを包む



漆黒の芝に覆われた庭園

- 2 日時** 令和8年2月4日（水）午後1時～3時頃まで
・当日が強風や雨天などの場合、又は前日の天候により芝焼きに支障がある場合は、2月6日（金）に延期します。
延期の決定は、当日午前9時までに後楽園事務所で行い、岡山後楽園ホームページにてお知らせします。
- 3 場所** 後楽園芝生地
- 4 芝生面積** 約1.8ヘクタール（約5,500坪）
- 5 作業人員** 10人程度

<参考>

- ・後楽園では、築庭当初から芝生を庭の構成要素の一部として取り入れており、その面積は時代とともに変化し、現在は平地の大半が芝生となりました。
- ・後楽園の芝焼きは、昭和40年から始まりました。芝焼きによって、病害虫の卵や病原菌などを駆除するとともに、4月上旬の新芽の出揃いを美しくし、さらに、焼けてできた灰は肥料となるなど、様々な効果が見込まれます。